

2025年3月期（第15期） 通期決算説明資料

2025.5.9

テクノホライゾン株式会社
代表取締役社長 野村拡伸



テクノホライゾン株式会社

目次

1. 2025年3月期（第15期）通期決算概要
2. 2026年3月期（第16期）通期業績予想
3. トピックス

1. 2025年3月期（第15期） 通期決算概要

(1) 2025年3月期 損益サマリー

単位：百万円

	2024年 3月期	2025年 3月期	増減	増減率
売上高	48,623	50,624	+2,001	4.1%
映像&IT	30,696	35,828	+5,132	16.7%
ロボティクス	17,927	14,796	△ 3,131	-17.5%
営業利益	1,036	373	△ 663	-64.0%
経常利益	1,709	350	△ 1,359	-79.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,001	△ 616	△ 1,617	—

前年同期実績比
増収減益**増収要因：**

- ・「映像&IT事業」増収
- ・特にESCO Pte.Ltd.の売上が伸長

減益要因：

- 【映像&IT】
- 米国教育市場
- ・棚卸資産評価損 144百万円（売上原価）
- 【ロボティクス】
- 製品不具合対応
- ・160百万円（売上原価）

【共通】

- ・営業外収益（為替差益）の減少

その他：

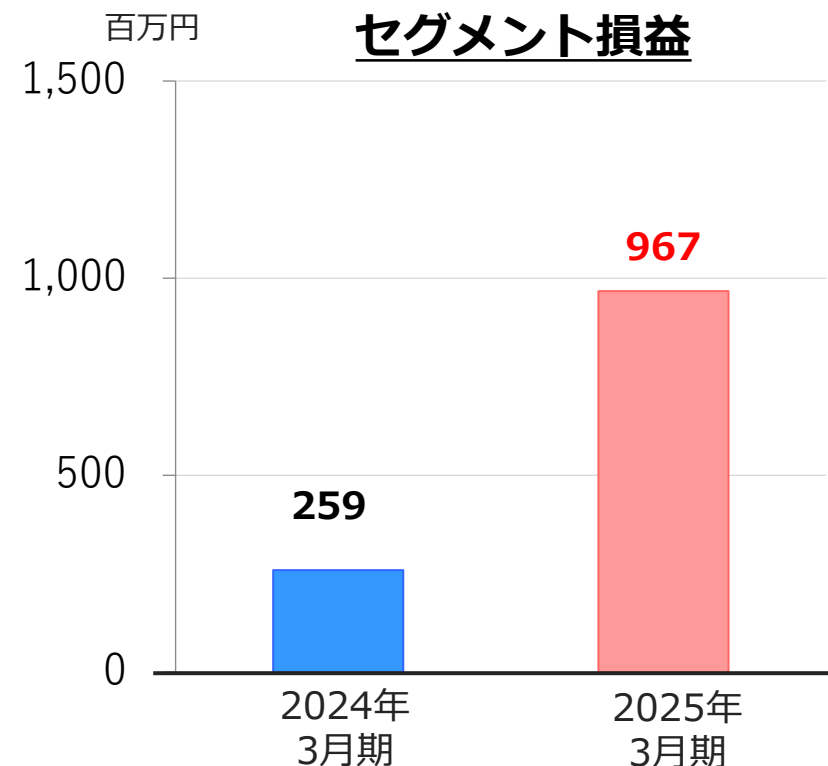
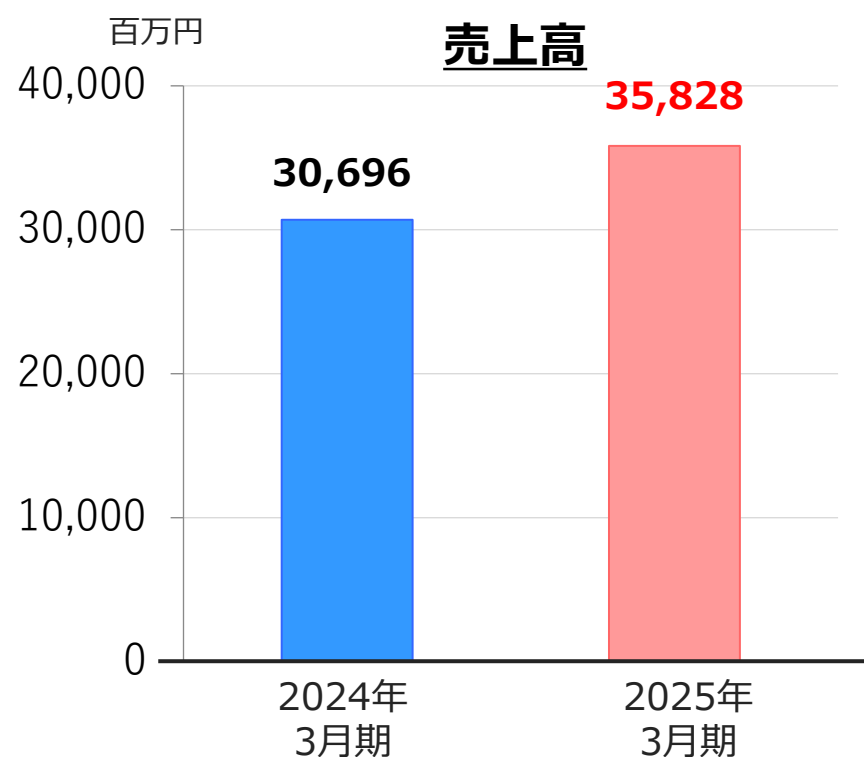
- ・特別損失 201百万円（減損損失）
423百万円（ソフトウェア評価損）

※セグメント変更に関する事項

2024年4月1日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「映像&IT事業」に含まれていた一部の当社事業（ドライブレコーダー、デジタルタコグラフの業務用車載器や医療機器等）及び一部の連結子会社の報告セグメントを「ロボティクス事業」に変更しております。

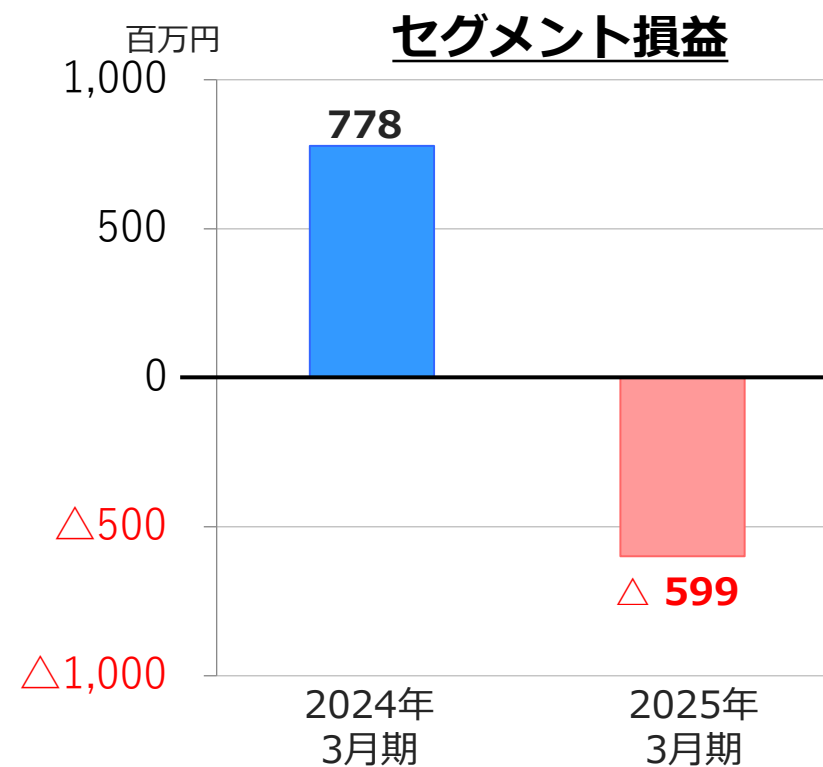
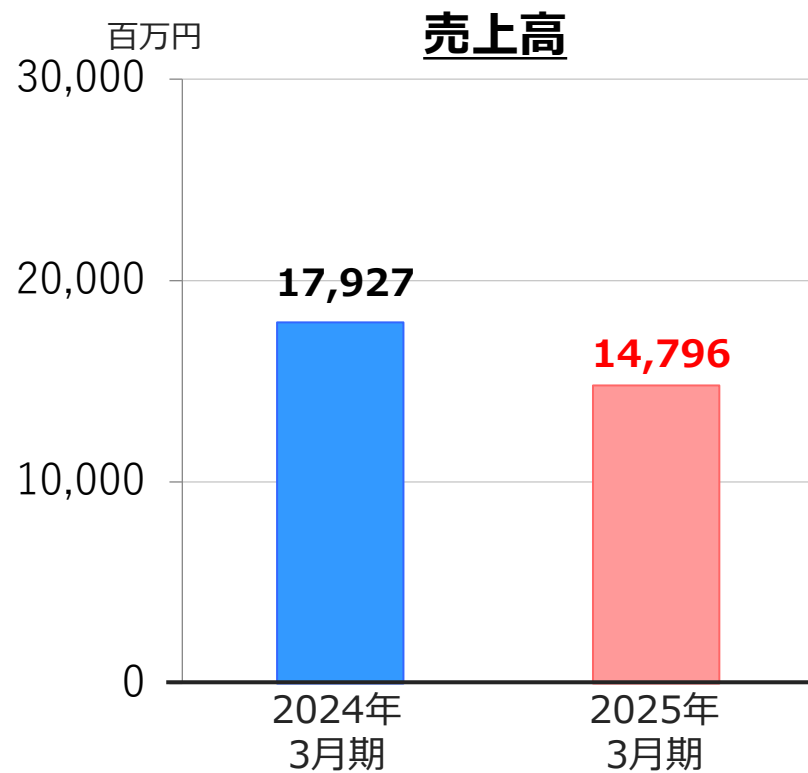
なお、前連結会計年度のセグメント情報は、この組織変更後のセグメント区分に基づき作成しております。また、P5及びP6の各セグメント損益についても組織変更後のセグメント区分に基づき作成しております。

(2) 映像 & I T 事業セグメントの損益



- ・シンガポールの子会社 2 社が堅調に推移
 Pacific Tech Pte. Ltd. (サイバーセキュリティ製品の卸売) は業績が順調に推移
 ESCO Pte. Ltd. (オフィス機器、AVシステムの販売) は地域の経済成長に支えられ順調に事業が拡大
- ・教育市場 (電子黒板、書画カメラ等) : ①米国 事業の持続的な成長と健全性の強化を目的として、長期滞留在庫に対して棚卸評価損を計上
 ②国内 GIGAスクール構想で導入した機器の入替が進み、前年同期比売上高が増加
 GIGAスクール構想第 2 期を念頭に活動を強化

(3) ロボティクス事業セグメントの損益



- ・ FA事業関連機器：国内 採算性の高い半導体向けX線検査装置に関して、新製品の開発遅延により納入が来期へずれ込みました
- ・ 連結範囲の変更：当社の財務諸表において重要性が増したことから、中島銅工株式会社を連結範囲に含めた影響により損益が悪化

(4) 2025年3月期 連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	2024年 3月期	2025年 3月期	増減
流動資産	26,360	28,260	+ 1,899
固定資産	9,731	9,136	△ 595
資産合計	36,092	37,397	+ 1,304
流動負債	21,127	22,560	+ 1,433
固定負債	5,151	4,738	△ 413
負債合計	26,279	27,298	+ 1,019
株主資本	8,091	7,386	△ 704
その他の包括利益合計額	1,708	2,702	+ 993
純資産合計	9,813	10,098	+ 284
負債純資産合計	36,092	37,397	+ 1,304
自己資本比率	27.2%	27.0%	△0.2pt

流動資産

- ・現金及び預金 : + 247百万円
- ・受取手形及び売掛金 : + 2,488百万円
- ・電子記録債権 : △347百万円
- ・仕掛品 : △285百万円
- ・原材料及び貯蔵品 : △283百万円

固定資産

- ・無形固定資産 : △518百万円
- ・投資その他の資産 : △78百万円

流動負債

- ・支払手形及び買掛金 : + 179百万円
- ・短期借入金 : + 1,282百万円
- ・未払法人税等 : △45百万円

固定負債

- ・長期借入金 : △334百万円
- ・リース債務 : △77百万円

純資産

- ・利益剰余金 : △704百万円
- ・為替換算調整勘定 : + 996百万円

2. 2026年3月期（第16期）通期業績予想

(1) 2026年3月期 業績予想 (前期比較)

単位：百万円

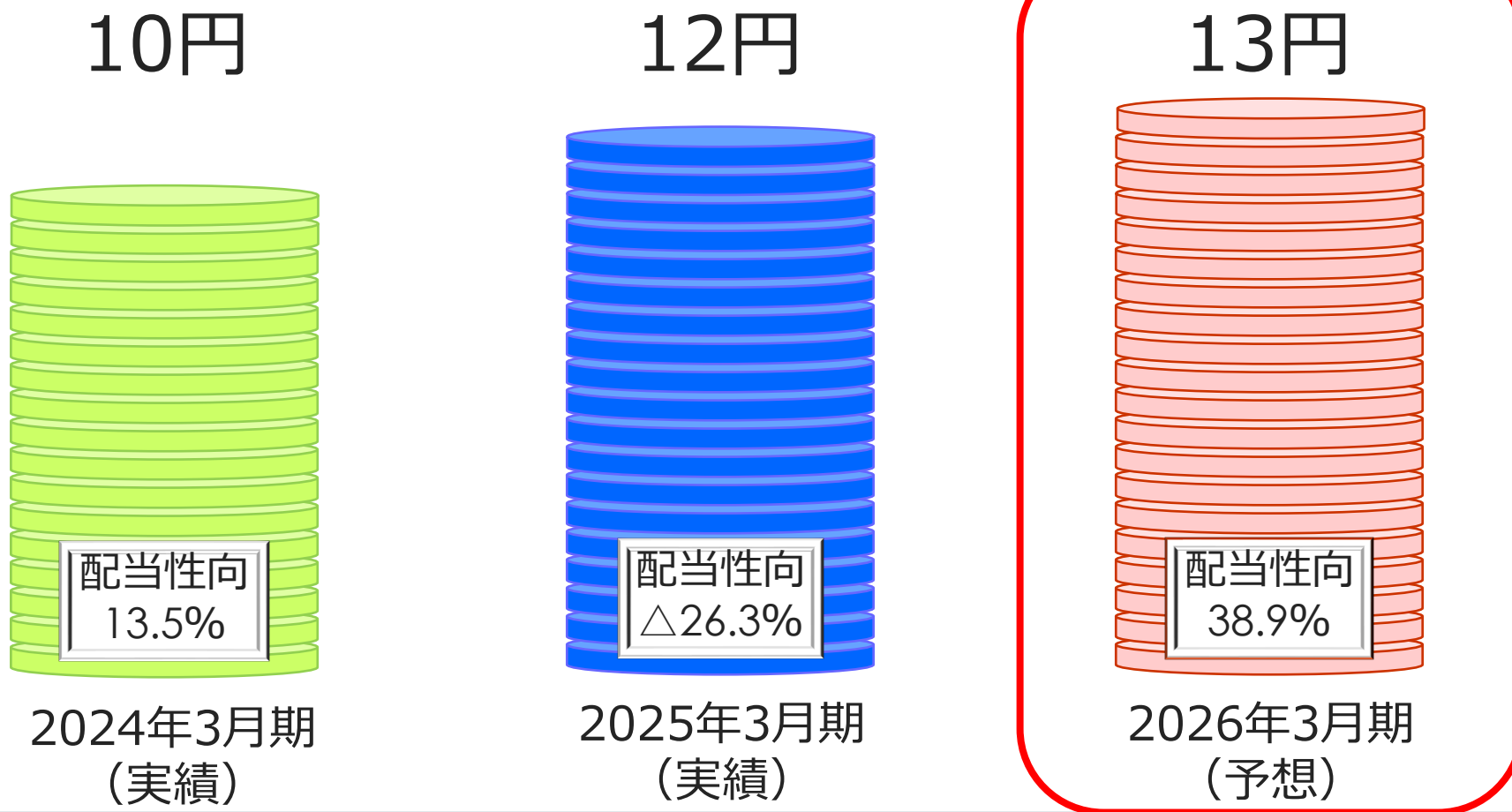
	2025年 3月期 (実績)	2026年 3月期 (予想)	増減	増減率
売上高	50,624	53,000	+ 2,376	4.7%
営業利益	373	1,200	+ 827	221.2%
経常利益	350	950	+ 600	171.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 616	450	+ 1,066	—

着実な成長増収要因

- ・ 買収先企業とのシナジー追求
- ・ 既存事業の底上げ

(2) 2026年3月期 配当予想

年間配当予想：年間 **1株あたり13円**



3. トピックス

(1) テクノホライゾンの動き



子会社の代表取締役の異動

- 当社の子会社であるアポロ精工株式会社、アドワー株式会社、株式会社アド・サイエンス、株式会社CYBER DREAM、ウェルダンシステム株式会社、中島銅工株式会社及び株式会社アイネッツコムが、下記のとおり代表取締役の異動を実施しました。

【異動の理由】

グループ人事の強化及び両社の組織体制の強化のため。

【新旧代表取締役の氏名・役職】

	新任			退任	
	氏名	新役職名	旧役職名	氏名	旧役職名
(1) アポロ精工株式会社	石木 一男	代表取締役社長	—	野村 拡伸	代表取締役社長
(2) アドワー株式会社	天野 光善	代表取締役社長	—	野村 拡伸	代表取締役社長
(3) 株式会社アド・サイエンス	熊澤 崇	代表取締役社長	代表取締役会長	土屋 直人	代表取締役社長
(4) 株式会社CYBER DREAM	天野 光善	代表取締役社長	取締役副社長	野村 拡伸	代表取締役社長
(5) ウェルダンシステム株式会社	天野 光善	代表取締役社長	取締役副社長	野村 拡伸	代表取締役社長
(6) 中島銅工株式会社	石木 一男	代表取締役会長	取締役	野村 拡伸	代表取締役会長
(7) 株式会社アイネッツコム	天野 光善	代表取締役会長	取締役副会長	野村 拡伸	代表取締役会長

(2) 製品・サービス情報

TECHNO HORIZON

テクノホライゾン株式会社

一体型電子黒板 ELMO Board シリーズ Google EDLA 認証取得モデル発売

- 教育現場やビジネスシーンでのDXを支援するツールとして、操作性と多機能性を充実させ、Google EDLA 認証を取得した一体型電子黒板ELMO Boardを2025年1月に発売しました。

ELMO Boardは、「毎日使えるICT & ずっと使えるICT」をコンセプトに「すぐに」「いつでも」「だれでも」使える操作性の高さを追求した製品です。本製品は Google EDLA 認証を取得したモデルで、Androidアプリをインストールできるアプリストア『Google Play™』を搭載しています。



65型・75型の2モデルをラインナップ

TECHNO HORIZON

テクノホライゾン株式会社

世界最高水準の分解能 0.16μmで自動検査 ハイエンドX線検査装置TI-X900s発売

- これまでのX線検査装置のラインナップに加え、世界最高水準の分解能 0.16μmで自動検査を行うハイエンドX線検査装置 TI-X900sを2025年3月に発売しました。

TI-X900sは、急増する先端デバイス需要に応える高精度非破壊検査で次世代テクノロジーの信頼性向上と、発展的な発想による独自性・創造性を持ったハードウェアとアプリケーションにて持続的な品質管理に貢献します。

世界最高水準の分解能0.16μmで
自動検査、ハイエンドX線検査装置
TI-X900s

(3) 海外子会社情報



ESCO Pte. Ltd. グループ 受賞 / Partner認定

ESCO Pte. Ltd. が、パートナー各社から受賞しました。

- ①・2024 Samsung Electronics Display LFD Top Growth Award 受賞 (Samsung社)
- ②・Top Overall Poly Partner 2024 受賞
・Top Poly Partner – Video Category 2024 受賞 (Poly社)
- ③・Outstanding Partner Award 2024 受賞
・Best Crestron Technology Application Award 2024- Flex 受賞
・Top Partner Award 2024 受賞 (Crestron Electronics社)
- ④・Corporate Partner of the Year 受賞 (Sennheiser社)
- ⑤・2024 APAC Top Video Reseller of the Year 受賞 (Jabra社)

COLCOM- Collaboration and Communication Technologies が Partner認定されました。

- ⑥・System Integration Partner 認定 (HARMAN India社)
- ⑦・Preferred Partner for Display Business 認定 (LG Electronics社)
- ⑧・Elite Partner 認定 (Crestron Electronics社)



Pacific Tech Pte. Ltd. 受賞 / 独占販売代理店提携

- ①Fortinet社 のチャイニーズ
ニューイヤーディナー2025で、
2024年のディストリビュー
ターパートナーオブザイヤー
(Distributor Partner of the
Year 2024) を受賞しました。



- ②PT. Pacific Tech Distribution Indonesiaが、
Doctor Web, Ltd.とインドネシアの独占販
売代理店として提携しました。
インドネシア全土の企業に強力に実績のある
サイバーセキュリティソリューションを
提供します。





多様性に満ちた人材で
グローバルなニーズに応える

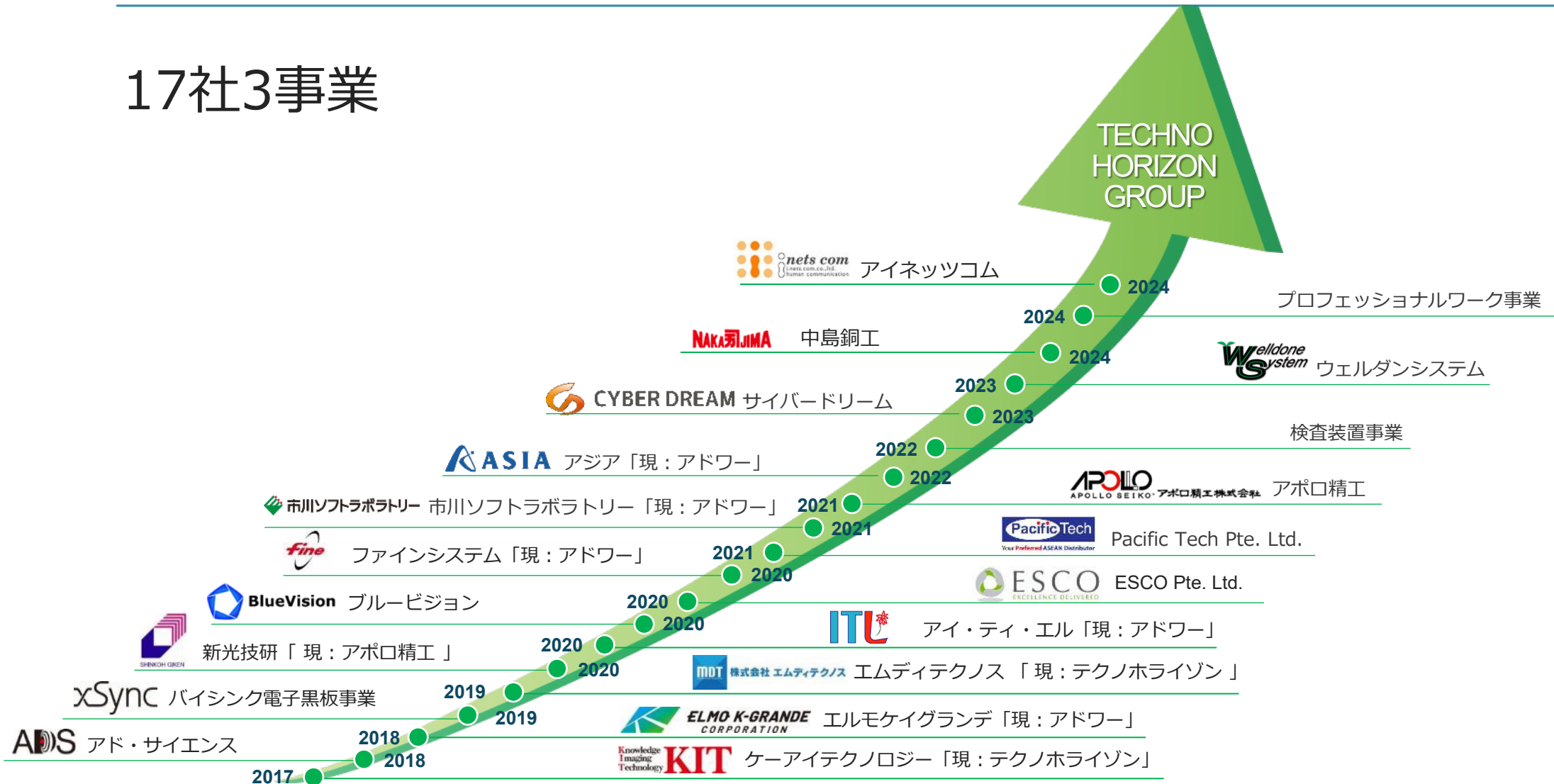


課題感

- ★ 人材確保・育成
- ★ コーポレート・ガバナンス

(5) グローバル化を加速

17社3事業



(6) 2026年3月期の業績に影響する主な不確定要素

① 受注減少のリスク

② 資源価格高騰や急激な為替の変動

③ 新製品の開発リスク

(対策)

① グローバルに営業連携を強化

② 国内外の連携を強化し、生産性を改善

③ 開発及び品質管理の改善を図る

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

I R担当窓口

■役職： 取締役

■氏名： 加藤 靖博

■電話： 052-823-8551

■FAX： 052-823-8560

■E-mail： info@th-grp.jp

グループ社是

風に向かう

やすらぎを誘う木陰のさわやかな風
嵐が近づきサーフィンには持ってこいの大波
上昇気流に乗り優雅に舞う蝶
アゲンストにも果敢に攻めるショートホール

無難なんて言葉は無い
状況は刻々と変化している

平等に与えられたチャンス
授かった希望
未来へ羽ばたく風をつかめ

TECHNO HORIZON

IMAGING & IT × ROBOTICS

ELMO

TIETECH

APOLLO
APOLLO SEIKO

TECHNO HORIZON GROUP

ADS

BlueVision

ESCO
EXCELLENCE DELIVERED

Pacific Tech

APOLLO
APOLLO SEIKO

Adwaa

CYBER DREAM

Weldone
system

NAKAJIMA

nets.com
i.nets.com.co.,ltd.
human communication